

授業科目名	看護診断学	担当教員名	江川 隆子			
期 間	後期	履 修 学 年	1	2	3	4
単位数・時間	2単位・30時間					○
授 業 形 態	講義		●－必修・○－選択			
授 業 の 概 要 学 習 目 標	<p>[授業の概要] 看護実践に必要な診断概念とその思考過程（看護診断過程）を学ぶ。</p> <p>[学習目標] 1. 看護診断の概念を学ぶ 2. 診断概念の背景となっている理論を学び、理論と診断概念との関係を理解する 3. 診断過程を学び、実習で受け持った事例の看護診断過程および看護診断を検証する 4. 実習で受け持った事例を基に看護診断に関連する記録について学ぶ</p>					
授 業 回 数	授 業 の 内 容					
第 1 回	ガイダンス					
第 2 回	看護過程と看護診断 (1)					
第 3 回	看護過程と看護診断 (2)					
第 4 ～ 5 回	看護実践と看護診断分類、看護成果分類 看護介入分類とリンケージ					
第 6 ～ 7 回	看護診断概念 (1) ; 事例を用いて					
第 8 ～ 9 回	看護診断概念 (2) ; 事例を用いて					
第 10 ～ 11 回	看護診断概念 (3) ; 事例を用いて					
第 12 回	実習の記録を基に看護診断に関連する記録について (1)					
第 13 回	実習の記録を基に看護診断に関連する記録について (2)					
第 14 回	実習の記録を基に看護診断に関連する記録について (3)					
第 15 回	実習の記録を基に看護診断に関連する記録について (4)					
成績評価の方法	レポートおよび出席状況を参考とし、テストの結果を中心に成績評価を行う					
テ キ ス ト	NANDA-I 看護診断定義と分類：2007～2008、 これなら使える看護診断：厳選 78NANDA-I 看護診断ラベル、 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断					
参 考 図 書						
履修上の留意点						